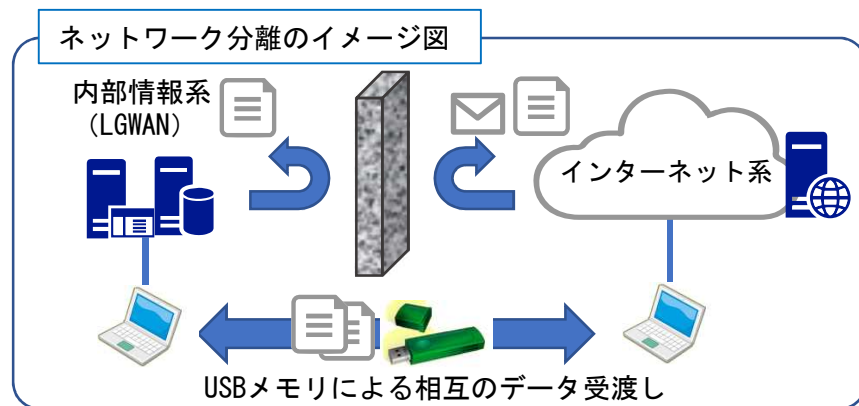


○現況

総務省がセキュリティ強靱化に関するガイドラインを発出し、琴浦町においても平成28年度より、『住民情報系』『内部情報（LGWAN）系』『インターネット系』のネットワーク分離を実施済み。



ネットワーク分離の結果…業務効率の低下とUSBメモリ利用の依存度があがる。

- ◇2系統のネットワークとPCを使い分ける必要あり。
Webサイト閲覧、外部とのメールやファイルの送受信、相互データ受渡しにはそれぞれのPC操作が必要となった。
- ◇相互データ受渡しにはUSBメモリを介するほかなく、USBメモリは紛失やデータ持ち出しによる情報漏洩の懸念が残る。

○事業目的

内部情報（LGWAN）系とインターネット系のネットワーク分離を確保しつつ、ネットワークの相互利用とセキュリティの向上を図るため、仮想化基盤構築とシンククライアントの導入を行う。

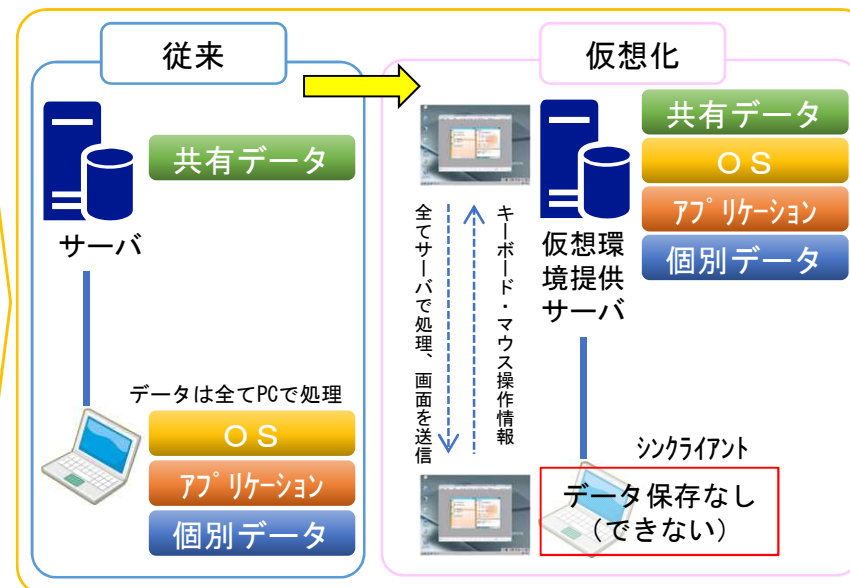
仮想化とシンククライアントとは

個別のPCに稼働させていたOSやアプリケーション、データなどをサーバ上の仮想化基盤に統合し、集中管理する方式。

端末にデータやアプリケーションを置かず、サーバ側で一元管理及び処理した後、端末へは画面情報のみを転送するため、情報漏えいのリスクを回避し、安全・安心にネットワーク資産の利用が可能。

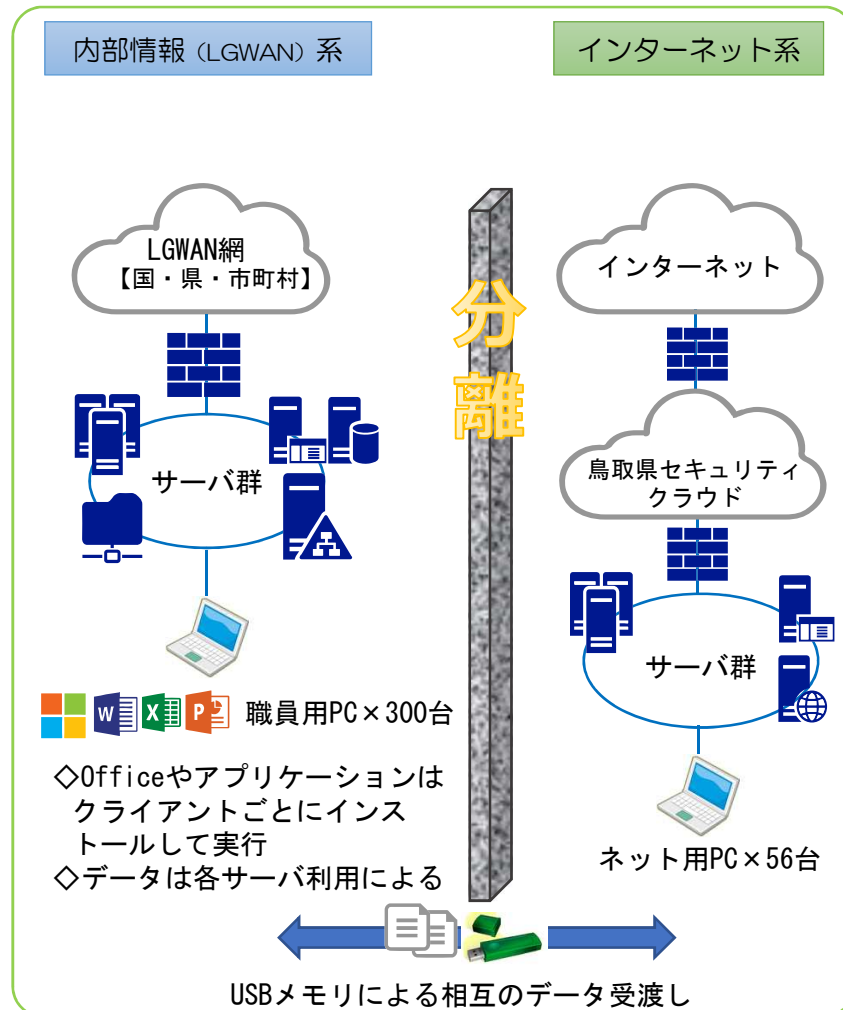
端末は、シンククライアントと呼ばれる、画面とキーボード・マウス操作の信号の送受信機能等、最低限の機能を有する機器を導入することにより、端末に情報を残すことがない。

イメージ図



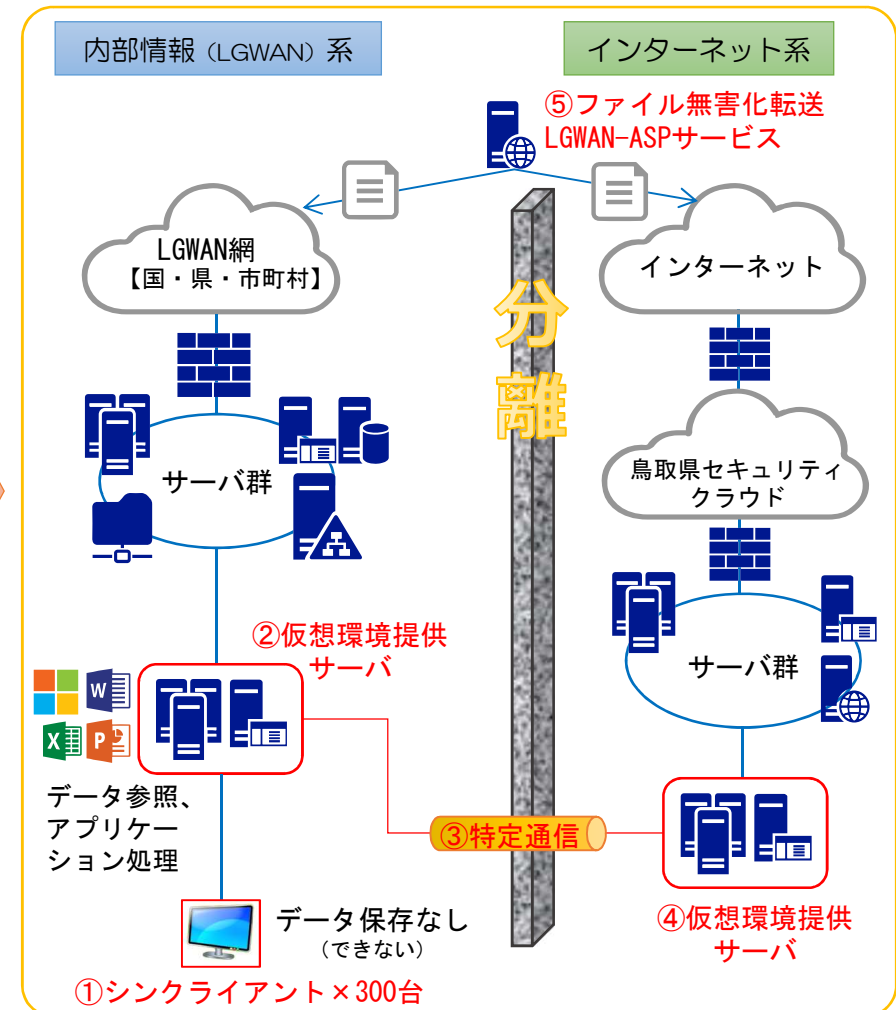
庁内ネットワーク利用環境改善事業における イメージ図

R1.9 総務課行政総務室



- ・ PCがサーバ群のデータを取込みPC内アプリケーションで処理
- ・ PC内にも個別データを保存
- ・ Web閲覧、外部メール、データ送受信ほかインターネットサービスを使用する場合は、ネット用PCを使用
- ・ 内部情報系とインターネット系相互のデータ受渡しはUSBメモリが必要

仮想化



- ・ 仮想環境提供サーバが必要なデータの取得とサーバ内アプリケーションで処理し、シンククライアントへ処理結果の画面を転送
- ・ インターネットサービスを使用する場合は、それぞれのネットワークが特定通信で接続されており、仮想環境サーバ同士が連携、シンククライアントへ画面転送を行う
- ※特定通信とは、総務省のガイドラインに合致する接続先や通信内容を限定した通信
- ・ ファイル転送は特定通信と認められていないため、LGWAN-ASPの無害化転送サービスを使用してUSBメモリ使用を規制する

マイナンバーカードを活用した消費活性化策の事業イメージ

自治体ポイントの取得方法（2020年度）

STEP
1

マイナンバーカードを
取得する。



STEP
2

マイキーIDを設定
する。



STEP
3

前払

<例>
A県ポイント 10,000円
B市ポイント 20,000円
C村ポイント 5,000円



※クレジット
カードなどで
前払

STEP
4

プレミアム付与

<例>
A県ポイント 11,000円
B市ポイント 22,000円
C村ポイント 5,500円



※マイナンバーカード発行枚数：
17,047,384枚
(令和元年6月3日現在)

※マイキーID登録者数：
14,937人
(令和元年6月2日現在)

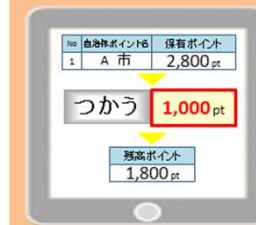
STEP
5-1

使い方①

商店で買い
物をする。



自治体ポ
イントで精算
する。



※QRコード決済も可能にする

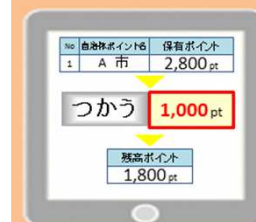
STEP
5-2

使い方②

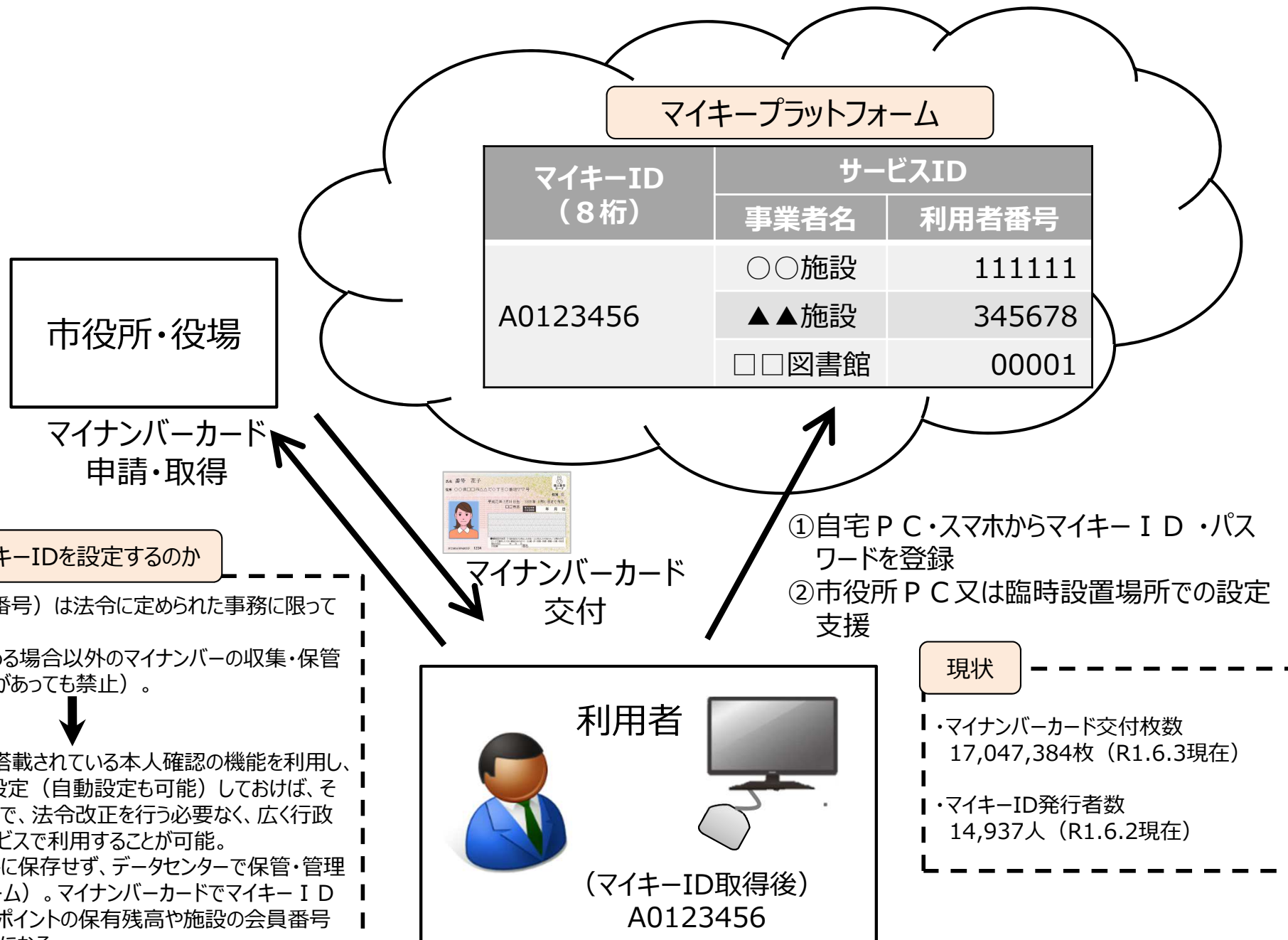
オンライン
ショップで買い
物をする。



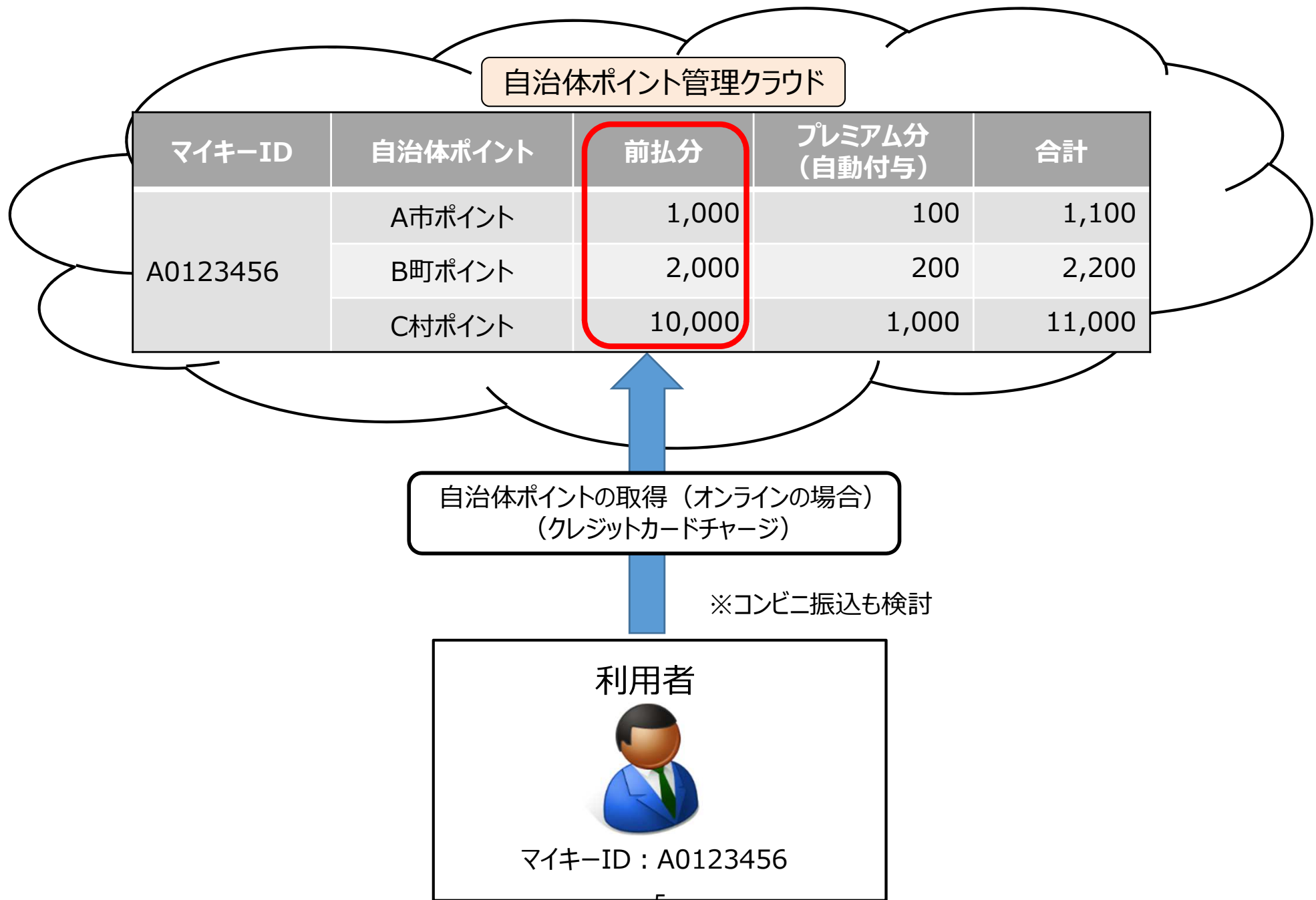
自治体ポ
イントで精算
する。



マイナンバーカードとマイキーIDの取得（イメージ）



自治体ポイントの取得・プレミアム付与（イメージ）（今後開発）



自治体ポイントの利用シーン（イメージ）

1. 商店での購入等

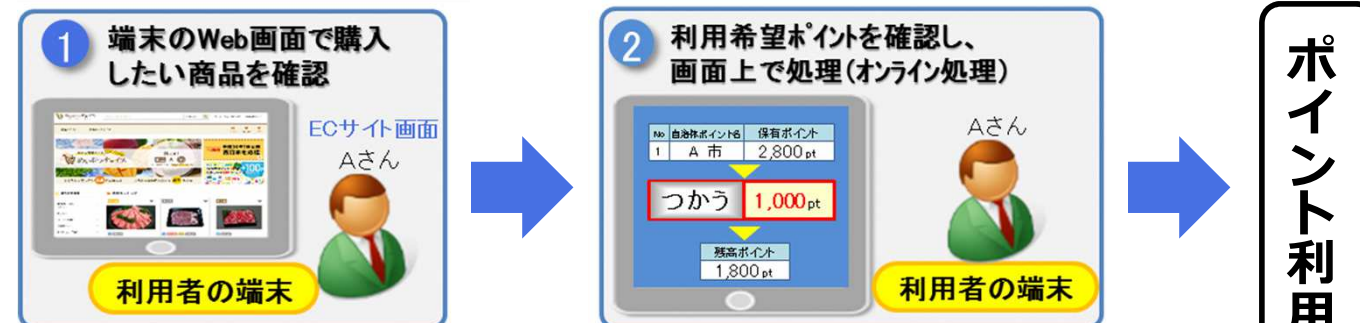
① 店舗のインターネット端末の利用（カードリーダー）



② 利用者のスマホの利用（QRコード）（今後開発）



2. インターネットでの購入等



※初回利用時のみ、マイキーIDとオンライン販売サイトのログインIDを紐付ける必要がある。